

枕の高さ変化が身体に及ぼす影響

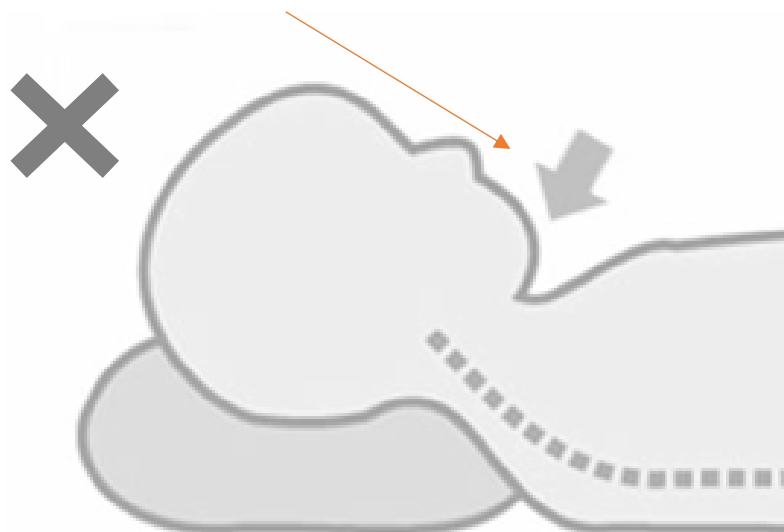
国立循環器病研究センターの脳神経内科・江頭柊平医師、田中智貴医長、猪原匡史部長らのグループが、**脳卒中の原因の一つである「特発性椎骨動脈解離」は、枕が高いほど発症割合も高いことを立証し、「殿様枕症候群」という新たな疾患の概念を提唱した。**

「特発性椎骨動脈解離」は、その原因の一つで、首の後ろの椎骨動脈という血管が裂けてしまうことで脳卒中を起こす。

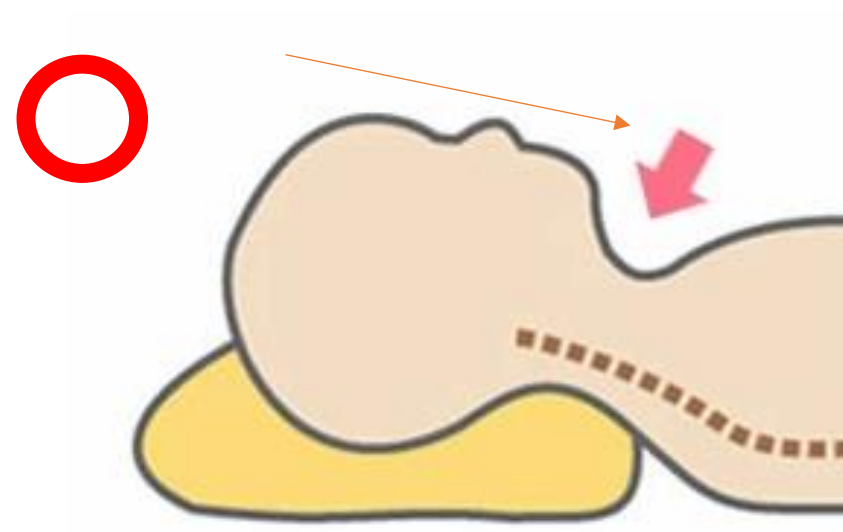
根本治療がないことから、発症予防のための原因究明が求められていたが、約3分の2の患者では原因不明だった。

「特発性椎骨動脈解離」の患者の中に、**極端に高い枕を使っている人が存在することに着目。**

※枕高の増加に伴い減肺舌量の減少が見られた。 まっすぐな管である気道の変形によって、ある一部分が狭められ、正常な呼吸が阻害されて生じたもの推察される。睡眠に大きな影響を及ぼすものである。気道部位の角度を重視すべきであると言える。



マットレスが沈みこむ且つ枕が高くなると
いびき、呼吸が浅くなる原因に



正しい状態
気道確保ができています